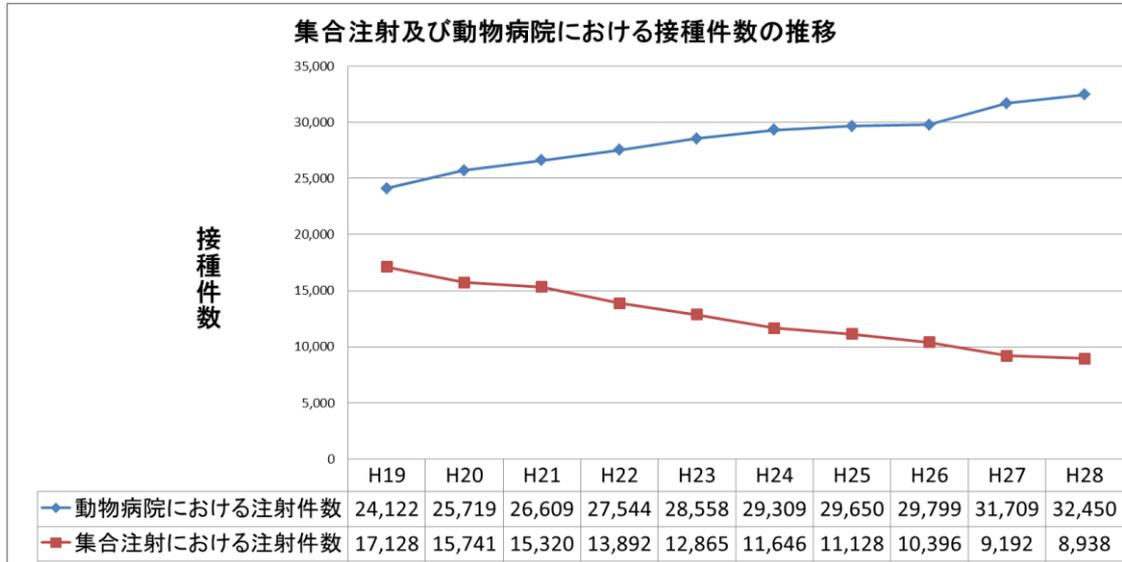


狂犬病予防集合注射の会場の見直しについて

1 背景

- これまで、狂犬病予防集合注射は、毎年4月に小学校等を会場として屋外で実施してきました。しかし、近年では、動物病院で接種される方が年々増加しており、集合注射での注射頭数が減少する傾向にあります。



- 屋外での集合注射については、一時的に犬が集まり混雑することから、これまでから犬同士のトラブルが起こったり、ワクチン接種による突発的な副作用発生への対処が難しいことなど、事故の発生の懸念があったことから、より安全に接種できる動物病院内での接種に移行することが求められます。

2 見直し内容

- 近隣会場や動物病院の立地状況を考慮したうえで、ここ数年の注射頭数が少ない会場（おおむね50頭以下）や雨天時の対応が難しい会場を中心に会場の削減を行い、平成29年度に集合注射を実施した241会場から平成30年度は160会場程度に変更することとします。
- 動物病院の無い地域（右京区京北地域などのへき地等）や、利用実績の伸びている日曜日の各区役所等の会場については、引き続き実施してまいります。